

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和5年度第5回朝霞第五中学校学校運営協議会		
開催日時	令和6年3月21日（木） 午後1時00分から午後2時00分まで		
開催場所	朝霞市立朝霞第五中学校 学校図書館		
出席者及び欠席者の職・氏名	委員6人（鈴木会長、要害副会長、片村委員、金子委員、小島委員、鈴木校長） 学校職員7人（宗像教諭、鈴木雅教諭、北地教諭、増田教諭、山田教諭、佐藤雅教諭、藤田教諭） 事務局1人（相澤教頭） 欠席 大森委員、児玉委員、渋谷委員、森泉委員		
議題	1, 来年度の学校経営方針（案）について 2, 来年度の年間行事予定について 3, 学校職員と情報交換 4, 質疑・応答		
会議資料	別紙参照		
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録		
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録		
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録		
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）		
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月	
	会議録の確認方法 による確認		
傍聴者の数	傍聴者0人		
その他の必要事項	特になし		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1, 来年度の学校経営方針（案）について

・（鈴木校長）令和7年度学校経営方針について、資料に基づき説明

・（要害副委員長）

学校教育目標のなかで、「人の気持ちがわかる生徒」を育成するとあるが、具体的にはどのような取り組みを行っていくのか。

・（校長）

今年度も行ったが、「命の教育」「性の教育」等の活動を継続的に行っていく。

・（校長）

五中のタブレット活用も進んできたが、三小との連携が重要と考えている。五中では双方向の活用が課題である。また、生徒のスキルがあがり、教職員のスキル向上が喫緊の課題となっている。三小の活用状況はどうか。

（小島委員）

五中同様、双方向での交流が課題である。ただ、社会科の学習などでは双方向での活用も進んでいる。児童のスキル向上と教職員のスキル向上の必要性は同様である。

・（金子委員）

体育の宗像教諭のサッカーの授業で、子供たちの大きな変容が見られた。オフザボールの動きを子供たち自身で話し合う内容で、コミュニケーション能力が向上した。まさに「人の気持ちがわかる」ことを育てる授業で、教科を問わず、授業で育てていくこともできると感じた。

・（鈴木委員長）

コミュニケーション能力を伸ばしていくには、学校で多くの生徒とふれあい、経験を積むことが重要と考える。学校でしかできない活動の充実が必須であると考えている。

・

2, 来年度の年間行事予定について

・（鈴木校長）来年度の年間行事予定について、資料に基づき説明

3, 学校職員と情報交換

（学校運営協議委員と学校職員が4グループに分かれ情報交換、意見交換を行った後、全体で報告、全体での共有を行った。

・（金子委員）

3小と5中の情報交換がよく行われているので、例えば特別支援学級へ入学する児童も安心して入学できるのではないかと思われる。

・（小島委員、片村委員）進路について詳しい情報を聞くことができたので良かった。

また、部活動の地域以降について、課題点など共有できた。

・（要害委員）宮戸地域での地域行事について共有できた。餅つきや夏祭り、豆まきなど、コロナ後初めて今年度行ったが、大変多くの子供たちが参加した。また、五中校区ふれあい祭りでは五中生徒のブースが大変人気で、交流が図れていた。世代を超えたコミュニティの重要性、学校と違う場所で息抜きできる居場所づくりが必要と感じた。

4, 質疑応答

・特になし